



IMMUNE METABOLITE MASTER

乳酸菌の時代は終わった 生命科学の最高峰の真実を得る

「乳酸菌・代謝物・腸活の専門家」を目指す方のための講座

IMM養成講座

IMMUNE METABOLITES MASTER

第二期募集要項

IMM養成講座のお申し込みはこちらから

<https://lz-kaiin.lactzyme.com/>

IMM養成講座とは

健康について学ぶ講座は、世の中に数多くあります。

しかし、老化、免疫、腸内細菌、細胞の働き、脳腸相関を、
一つの生命維持システムとして理解し、
その先にある本当の健康への道筋まで
学べる講座は、これまで存在しませんでした。

健康情報は年々増え続けています。

新しいサプリメントが発売され、新しいCMが流れ、
新しい検査サービスが登場する。

けれどその一方で、『結局、自分は何をすれば健康になれるのだろう』
と感じたことはありませんか。

その答えを探して、私も31年間歩き続けました。
しかし乳酸菌を研究しても、免疫を調べても、
老化を研究しても、生命維持システムへという
巨大な扉を開くことができません。

険しい山を一步一步登るように、
時間をかけてたどり着いた場所で、
私はあるものを見つけました。

腸内細菌が作り出す代謝物が、
細胞へ届ける情報の正体に触れたとき、
なぜ細胞が活発に働くのか。
なぜ免疫が変わるのか。
なぜ老化を食い止められるのか。

これまで別々に語られてきたことが、
一つのシステムとして霧が晴れたように鮮明に
つながって見えてきたのです。

扉を開ける鍵が、そこにあったのです。

正直に申し上げます。
この景色が見えているのは、
今のところ、私だけかもしれません。



誰も足を踏み入れたことのない秘境に、
たった一人で踏み込んだ探検家のような心境、
とでも言えばよいでしょうか。

31年間、地図もなく、答えもわからないまま歩き続け、
幾度も道に迷いながら、それでも歩くことをやめなかった。

そしてようやく今、
宝の山へと続く道を見つけることができました。

その道の先に何があるのか。
私はまだ、すべてを見たわけではありません。

しかし、この道が確かに正しい方向へ向かっていることは、
今の私には分かります。

そしてこの道を、一人で歩くのではなく、
皆さんと一緒に歩いていきたいと思っています。
それがIMM養成講座です。

皆さんには、同じ山を私と同じように
登っていただく必要はありません。
31年かけて私が切り開いた道を、私がガイドとして案内します。

その先の景色が見えたとき、何が変わるのか。

ご自身や家族の健康について言えば、
広告や流行に惑わされることがなくなります。
数多くの健康情報の中から、
本質的なものを自分の頭で見極める力が
身につくからです。

すでに健康や人を支える仕事に携わっている方であれば、
その変化はさらに大きいかもしれません。
整体、鍼灸、介護、医療、美容、スポーツ、
健康食品、発酵、農業。

職種は違っても、
生命を相手にしていることに変わりはありません。

腸内細菌が代謝物という形で
細胞へ何を届けようとしているのかが分かったとき、
これまで積み重ねてきた知識や技術が、
まったく新しい意味を持ち始めます。

同じ仕事をしていても、見えているものが違う。

それはお客様や患者さんへの言葉の深さに、
説得力の厚みに、そして結果に、必ず現れてきます。

私が見つけた宝の使い方は、皆さんそれぞれの手の中にあります。
私と同じ仕事をしていただく必要はありません。

皆さんそれぞれが、ご自身の専門分野でさらに輝き、
必要とされる存在になっていただくための道具として、
この景色を役立てていただきたいのです。

講座は2026年10月3日(土)よりスタート。
全8回、横浜・品川会場およびZoomで開催します。

マスターコースでは、実際にラボで菌を培養し、顕微鏡でその姿を観察しながら、31年間の研究の一端をご自身の目で確かめていただきます。

文字や論文だけでは得られない実感が、そこにはあります。

誰も見たことのない景色が、そこにあります。
その景色を、ぜひ一緒に見ていただきたいと思います。

IMM養成講座 第二期 募集要項・お申し込み

<https://lz-kaiin.lactzyme.com/>

皆様とお会いできる日を、心より楽しみにしております。

株式会社ラクトザイム 代表取締役

箱崎 順之

講師は31年、菌と対話し続けてきた研究者 ～情報源で変わるあなたの健康～

人の論文を解説する評論家か 経験を語る開発者か

私は31年間、実際に大豆畑に足を運び、自分の手で乳酸菌を培養し、顕微鏡でその躍動を見守ってきました。

この講座であなたに手渡すのは、伝聞でも情報でもなく、私の経験に基づくドキュメンタリーです。



**31年の
社会実装実績**
Social Implementation

**自社ラボでの
一貫製造**
Direct Production

**国内唯一の
代謝物理論**
Exclusive Metabolite Theory

なぜ、医師に聞いても「腸内細菌のことはわからない...」と言われてしまうのか？

これは医師の能力の問題ではありません。

日本の医学教育において、腸内細菌や代謝物に関する内容は極めて限られており、

医師国家試験には、あなたが今気になっている「なぜ老化するのか」「なぜ腸内細菌が免疫を動かすのか」という問いは、ほとんど登場しません。つまり、**「医療が届かない空白の領域がある」**のです。

医師に聞いても答えが返ってこない。それは正直な医師ほど「わからない」と言います。

現代医療の領域

発症した症状に対して、物理的・化学的に介入する対症療法領域。

- ・薬物療法（投薬）
- ・外科的治療（手術）
- ・症状の緩和・延命

IMM養成講座の領域

根本原因である「細胞のシグナル異常」を読み解く、現代医療の教科書に載っていない領域。

- ・腸内細菌代謝物（メタボライト）
- ・ミトコンドリアの活性化
- ・細胞の老化速度のコントロール

その空白を、誰も教えてくれなかった理由

『腸内細菌の代謝物の存在』を体系的に教える場所が、日本に存在しなかった。

大学でも、学会でも、YouTubeでも、「代謝物(メタボライト)が細胞にシグナルを送る」というメカニズムを、実際の製品と結びつけて体系的に教える場所はありませんでした。

その理由は…

- 代謝物の製造者は製造ノウハウの流出を恐れ、製造方法を語らない。
- 実は、本当の理屈を知らない製造者がほとんど。
- 科学を学んだ製造者がいない
- 代謝物の重要性を広めようとする人間が、研究開発の現場にいなかった。

さらに、私に言わせれば、『腸内環境を改善する』と言っている人は、現実の腸内細菌を知らない人です。



「腸内細菌」ではなく、「腸内細菌代謝物」を学ぶ

乳酸菌(生菌)を届ける時代は、終わりました。

これからの主役は、菌そのものではなく、菌が作り出す『代謝物(メタボライト)』です。

微生物である腸内細菌は、体内で様々な物質を作り出し、細胞に「命令(シグナル)」を送っています。その命令は、ホルモンに匹敵する情報として働いています。

【IMMで読み解く世界の最先端】

近年の研究では、アルツハイマー病、パーキンソン病、糖尿病、自己免疫疾患などが「腸内細菌由来の代謝物」と関連していることが次々に報告されています。

IMMでは、一般には出回らない最新論文を基に、本質的な生命のメカニズムを学びます。

従来の常識である
「生きた菌」を腸に届ける
数を増やすだけ理論の終焉
これからの主役は...



IMM養成講座がもたらす、『7つの劇的な変化』

あなたが得た、細胞レベルまで踏み込んだ、
ホンモノの知識と経験は、セールストークを不要にします。

1. 揺るぎない知識の厚みと自信 ——

基本や本質を理解できたことで、点と点がつながり立体となり、白黒だった知識もカラー化します。『専門家』『詳しい人』『あの人に聞けばいい』と言われるようになります。

2. オンリーワン商品を手に入れる ——

理屈・実際・実績の三つが揃った製品の存在は、他の選択肢が不要になり、『これがある』という確信と安心をもたらします。

3. お使いのAIが劇的に変化 ——

IMMメンバーサイトからダウンロードした、過去の実験結果や研究内容などの資料を元に、お使いのAIのナレッジ(知識)をアップデート。代謝物に関して世界一のAIとなります。

4. 情報入手の方法が多様化 ——

論文の検索方法や読み解き方が分かり、AIを主体的に使いこなして、自ら先端科学の最新情報を得られるようになります。

IMM養成講座がもたらす、『7つの劇的な変化』

あなたが得た、細胞レベルまで踏み込んだ、
ホンモノの知識と経験は、セールストークを不要にします。

5. 圧倒的な情報発信力——

YouTubeやSNSでの専門的な発信、書籍や小冊子の制作が可能に。他とは次元の違う発信が、あなたを業界トップのポジションに押し上げます。

6. 絶対的な信頼と権威性——

『健康』をキーワードに、業種を問わず、あなたは『細胞単位』でメカニズムを語れる専門家となります。濃い会話からにじみ出る『ホンモノ感』は、お客様へ安心と絶対的な信頼感を与え、セールスは不要になります。

7. アライアンスメンバーとの繋がり——

最先端の情報を共有し、共にビジネスを構築するコミュニティへ参加し情報交換。同じレベルで相談し合える仲間たちの存在。今後、ツアーやイベントが企画されます。

科学の基本を再構築

メディアの「嘘」を科学で論破する

IMM養成講座では健康番組、YouTuber、企業の広告。一見正しく見える情報の「論理的な破綻」を指摘する具体的なトレーニングを行います。

- ✓ 腸内フローラ幻想の終焉
- ✓ 菌の生死と代謝物の相関関係
- ✓ 「数百億個の菌」というマーケティングの欺瞞
- ✓ 他社製品や乳酸菌飲料の広告を箱崎が解説。

【受講後の変化】

もう、広告に踊らされることはありません。あらゆる情報を自分の頭でフィルタリングし、本物だけを見極められるようになります。



実践的「症例カンファレンス」方式の導入

机上の空論で終わらせない。「症例」から紐解くメカニズム。

旧来のケーススタディを進化させ、実際の現場で直面する疾患や不調をテーマにした「カンファレンス(臨床検討会)方式」を採用。表面的な「症状」を見るのではなく、その背景にある「細胞のシグナル異常」を読み解き、現場で活きる実践力を養います。

【主要なカンファレンステーマ】

- ・ 認知機能低下(脳の衰えとミトコンドリアへの介入)
- ・ 潰瘍性大腸炎・自己免疫疾患(腸内の慢性炎症メカニズム)
- ・ 糖尿病(エネルギー代謝の細胞レベルでの理解)
- ・ 腎機能障害(糖尿病から透析、失明に至るメカニズム)
- ・ 皮膚のターンオーバー促進効果
(皮膚の構造とターンオーバーの仕組み、火傷の治癒)



IMM養成講座でしか体験できない 実践的8大本格ラボ実習

IMM養成講座がラボ(実験)実習を 取り入れた理由

本やネットで得た「文字だけの知識」は、いざ顧客に説明する場面でどうしても言葉が軽くなり、説得力に欠けてしまいます。

自らの手で菌を培養し、顕微鏡で躍動を観て、数値を分析する。

この『大学院レベル以上の実践的なラボ実習』こそが、あなたがプロとして語る際の【**圧倒的な自信とオーソリティ(権威性)**】に直結します。



IMM養成講座でしか体験できない 実践的8大本格ラボ実習

ラボ(実験)実習 詳細



1. 乳酸菌培養実験

当社の自社株や市販の乳酸菌製剤から抽出した菌を使用し、培地の中で実際に乳酸菌が増殖していくプロセスを自分の目で確認します。菌が生きる環境を自ら再現する、他では体験できない実習です。

2. 体液のpH測定

唾液をはじめとする体液のpHを実際に測定します。それぞれの体液が持つ独自のpH値とその目的を確認することで、酸と塩基の仕組みや、人間のホメオスタシス(恒常性)が維持されるメカニズムを数値として理解します。

3. 顕微鏡での観察体験

教科書の図解やネットの画像ではなく、実際に顕微鏡を覗き込み、生きている乳酸菌などのリアルな姿を観察します。「生きた菌を直接見た」という経験が、あなたの知識に揺るぎない確信をもたらします。

4. 皮膚常在菌の培養

手や顔などから、哺乳類の表皮独特の常在菌(黄色ブドウ球菌など)を採取し、培養します。私たちが日常的に「菌のバリア」によって外部の脅威から守られているという事実を、視覚的に実感します。

IMM養成講座でしか体験できない 実践的8大本格ラボ実習

ラボ(実験)実習 詳細



5. 機能性ヨーグルト製造実験

当社の自社株や市販の乳酸菌製剤から抽出した菌を使用し、培地の中で実際に乳酸菌が増殖していくプロセスを自分の目で確認します。菌が生きる環境を自ら再現する、他では体験できない実習です。

6. フリーズドライ(真空凍結乾燥)体験

高度な理学機材である真空凍結乾燥機を実際に使用します。身近な食品(お粥など)をフリーズドライ加工する工程を通じて、熱に弱い成分の活性を保ったまま粉末化する高度な食品加工技術を学びます。

7. ポリフェノール分析

コーヒーに含まれている機能性成分(ポリフェノールなど)を、分光光度計(紫外可視分光光度計)を用いて測定します。光を用いた分析という概念に触れ、「効く」を科学的に数値化するプロセスを身につけます。

8. 滅菌・殺菌・除菌実験

オートクレーブを使用し、125度の高圧蒸気による滅菌実験を行います。高温で死ぬ菌・死なない菌の違いを目の当たりにし、言葉として曖昧に使われている「滅菌・殺菌・除菌」の決定的な違いを学びます。

独占的ビジネスの確立

製造元直結。ライバル不在の「青い海」へ

IMM養成講座の受講生は、ラクトザイム社から製品を直接供給される特権を手に入れます。

他では手に入らないソリューションが、あなたのビジネスに圧倒的な信頼と利益をもたらします。

中間マージンの完全排除

Profit Margin



 IMA認定マスターの称号

「IMMを修了した」という事実が、健康業界における最も権威あるステータスとなるよう、強力なブランディングを実施します。

「脳の老化」に終止符を打つ

九州大学とのマウス共同実験(行動試験)において、SLIC16c-u群が「認知機能低下を有意に改善」させた驚愕の事実。

(独自の製造システムに見るシーケンシャル培養の意義。人の腸内環境を模した唯一のメーカーとして解説)

シーケンシャル培養(特許出願準備中)

海馬・神経細胞解析の真実

神経細胞の「エネルギー工場」であるミトコンドリアの活性化を特定。このデータは、既存の医学教育の枠を超えたIMM養成講座だけの独占カリキュラムとなります。

CRITICAL PROOF
PATENT

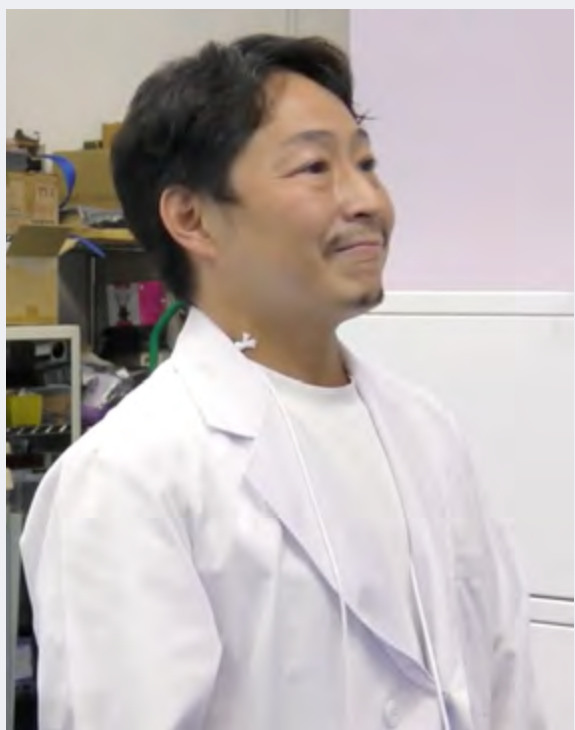
現在、特許出願中。
日本国内でこの知見を語る
権利は、IMM養成講座
修了者にのみ「ライセンス」
されます。



第1期生の声 ～「知る」から「確信」へと変わる場所～

『他では絶対に経験できない「培養実習」と「代謝物の真実」』

赤堀様【あん摩マッサージ指圧師・睡眠改善コンサルタント】



これまで自分なりに腸内環境を学んできたつもりでしたが、ここで聞いた話は“次元”が違いました。巷の「菌活」ではなく、生命の鍵を握る『代謝物』の存在を知ったことは、私にとって最大の衝撃です。また、実際に乳酸菌を培養するなどの「ラボでの実践」は、他では絶対に経験できない貴重なものでした。今まで学んできた腸活とは全く違う「本物」に触れたい方には、強く受講をお勧めします。この学びは、私の睡眠改善コンサルティングにおいても、クライアントに語る強力な武器になっています。

第1期生の声 ～「知る」から「確信」へと変わる場所～

溢れる「乳酸菌の嘘」に気づき、ビジネスの強力な柱へ

戸田様【ヘルスコーチ】



ヘルスコーチとして人体の知識を深めるために参加しましたが、世間に溢れている乳酸菌の常識が“全く違っていた”ことに驚愕しました。腸内細菌と代謝物が、人間の体にどう働きかけるのか。その本質的なメカニズムを深く理解することができました。

ここで学べるのは、世界でも唯一無二の品質を持つ「本物」の知識です。学んだ知識をクライアントへ還元できるのはもちろん、製品の販売や自分のビジネスに直接繋げていくことができる実践的な講座です。一步を踏み出すことで、仕事の質が確実に変わります。

「乳酸菌・代謝物・腸活のプロ」を目指す方のための講座

IMM養成講座

IMMUNE METABOLITES MASTER

IMM養成講座のお申し込みはこちらから

<https://lz-kaiin.lactzyme.com/>

IMM養成講座

IMMUNE METABOLITES MASTER

第二期

プログラム内容

箱崎順之の「コンサート」

31年間、菌と向き合ってきた私のすべてをステージに。
これはスクールではない。
学びの共同体『IMM Alliance』です。

私にとってIMMの講義は、自分の研究人生のすべてを懸けた『コンサート』のようなものです。

出し惜しみは一切しません。31年間、メディアに出ず、ひたすら顕微鏡を覗き込み、**菌の声を聞き続けてきた私の知識、経験、情熱のすべてを、このコミュニティ(Alliance)に参加するあなたに託します。**

卒業で関係が終わる単なるスクールではありません。真実を探究する仲間としての『IMM Alliance(アライアンス)』へ、あなたをご招待します。



156の引き出しを作る「異次元の知識と実践」



専門講義

- ・IMM概論 ・食品概論 ・微生物、腸内細菌~基礎編 ・乳酸菌関連、広告分析(その1)
- ・生化学の基礎 ・腸内環境とは ・ヨーグルト商法と乳酸菌
- ・電子工学と生物学、二つの情報システム ・生物学での情報伝達 ・分子濃度が遺伝子を変える
- ・細胞とエネルギー、概論 ・人体とATP ・細胞試験、動物実験、臨床試験概論
- ・細胞試験、試験結果解説 ・動物試験、試験結果解説 ・臨床例、臨床試験結果解説
- ・乳酸菌関連、広告分析(その2) ・ヒト免疫システム総論 ・食品製造技術、実践編
- ・代謝物サプリの問題点(その3) ・本物と偽物の見分け方 ・脂肪と肥満の話
- ・脂肪とインスリンの働きについて ・細胞外小胞について ・各種成分々析方法、基礎編
- ・論文の検索方法と読み方 ・年齢と老化 ・S/N比の低下とは何か ・腸脳相関、基礎知識
- ・代謝物の脳疾患への応用 ・大豆と原料調達思想 ・遺伝子とは何か ・乳酸菌と遺伝子ビジネス
- ・日本人のモノづくりと諸外国の違い ・変わりつつある世の中の流れ
- ・世の中の実態(黄昏れるリテラシー) ・IMMの新しいステージとは ・IMM第二期世界観の完成
- ・総括~第三期IMM養成講座に向けてご案内 講座のご案内・IMM修了証授与

「医師、大学教授も知らない」現場の真実を語る唯一の場

教科書通りの理論ではありません。31年間、菌と対話し
「社会実装」してきたからこそ語れる、本質的な知識を丸ごと継承します。

156の引き出しを作る「異次元の知識と実践」

実践プログラム

- ・乳酸菌培養・実践編(植菌) ・乳酸菌培養・実践編(回収) ・乳酸菌培養後の増殖観察
- ・FD(フリーズドライ)製造体験 ・機能性ヨーグルト製造体験
- ・市販ヨーグルトの菌種比較実験 ・皮膚常在菌の培養 ・機能性ヨーグルト回収
- ・市販ヨーグルトの培養&回収 ・皮膚常在菌の培養&回収
- ・分光光度計と HPLC(高速液体クロマト) ・コーヒーポリフェノール分析体験
- ・LZ スペシャルティコーヒー試飲 ・有機大豆をオートクレーブで加熱(試食)
- ・滅菌・殺菌・除菌の違いは何か

世界にここだけにしかない、「職業訓練」級の実習指導。

大学教授も知らない、大学院生も決して経験することのない数々の実習。実際に乳酸菌に触れ、その躍動を五感で捉えることで、あなたの知識は圧倒的な「厚み」へと変わります。31年、菌と生きた「実践者」箱崎があなたの引き出しを156増やします。

実践的「スキルアップトレーニング」の導入

教えられた知識ではなく、「自ら論破できる力」を養う。

ただ講義を聞いて終わらせない。各回の終了時に「自ら考える課題」を提示し、次回のオープニングで箱崎が徹底解説、おさらいを行います。

(想定シチュエーション例：『全玉菌を飲んでも腸内環境が良くならない理由』『〇〇のCMの嘘(矛盾点)は?』への回答など)

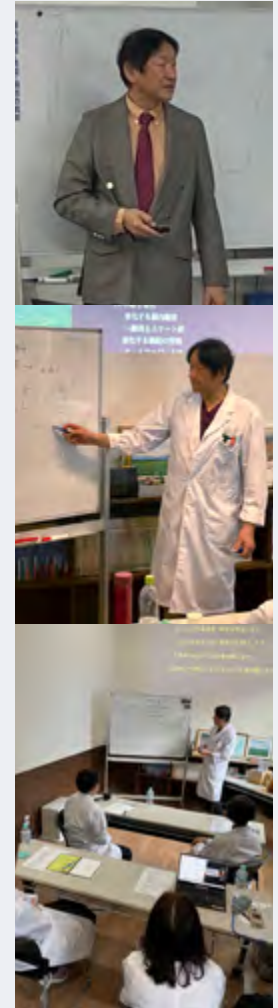
【主なトレーニング内容】

・メディアの「嘘」発見トレーニング

(YouTubeの自称専門家や健康番組の論理矛盾を瞬時に見抜く)

・広告の「科学詐欺」分析

(不都合な真実を隠したマーケティングの欺瞞を暴く)



講座日程

第1回 2026年10月3日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：乳酸菌培養・実践編(植菌)

[座学] 10:30~11:00

[実験・体験] 11:00~12:00

■ 事前配信動画

使用機材の名称と使い方、培地の作り方、
菌の起こし方、植菌方法と培養

- ・ 乳酸菌培養・実践編(当社株)
- ・ 市販乳酸菌製剤からの培養実験
- ・ 顕微鏡で乳酸菌を見てみよう



講座日程

第1回 2026年10月3日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：生命の基礎単位を知る

[座学] 13:00~18:00

1. IMM 概論

講座の全体像とIMMの意義・日本の医療の現状と寿命までの道のり・サプリ業界を取り巻く現実・市販サプリの種類・原理を分析・IMMのビジネス展望・知識の差に価値がある・IMM で見えてくる『景色』とは

2. 食品概論

ヒトの消化吸収メカニズムの実際・アミノ酸とペプチド、タンパク質・糖の種類と酵素の働き・酵素の種類と働き・消化関連の疾病と医療事情・医療関係者が知らない栄養の吸収・MAY 食品と MUST 食品・培地としての食品の捉え方

3. 微生物・腸内細菌～基礎編

地球誕生と微生物・原核生物と真核生物・発酵の基礎～中級・発酵とは&呼吸とは・酵素反応とは・ホルモン・サイトカインの違いと働き

4. 乳酸菌関連・広告分析(その1)

腸内環境に群がる企業と CM 解説・ネットに広がるインチキ広告解説・YouTube に登場する医師・学者の特徴・芸能人を使った広告例と実際の製品・市販サプリの特徴

5. スキルアップトレーニング(課題)

(第2回講座オープニングで解説します)

講座日程

第2回 2026年10月4日(日)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：

乳酸菌培養・実践編(回収)

乳酸菌培養後の増殖観察

FD(フリーズドライ)製造体験

[座学] 10:30~11:00

[実験・体験] 11:00~12:00

■ 事前配信動画

粉体加工理論(SD/FD/CD 加工の違い)、超低温冷凍庫について、凍結乾燥器について



講座日程

第2回 2026年10月4日(日)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：微生物と発酵&生化学の基礎

[座学] 13:00~18:00

6. 第1回の課題解説

7. 生化学の基礎

酸と塩基(pH とは何か)・唾液、血液、胃液の pH の違いと意味・※ 体液の pH 測定・ホメオスターシスとは何か・酵素反応と温度の関係・基質特異性とは

8. 腸内環境とは

腸内細菌の特徴～中級編・微生物・腸内細菌～応用編・生菌・死菌の特徴と市販品

9. ヨーグルト商法と乳酸菌

ヨーグルトは健康に良いのか・ブルガリアは長寿ではない・ヨーグルトの限界・市販品ヨーグルト論文分析

10. スキルアップトレーニング(課題)

(第3回講座オープニングで解説します)

講座日程

第3回 2026年10月18日(日)

講座形式：Zoomウェビナー

(Master / Member course)

テーマ：分子濃度という言葉 ～情報工学としての生命科学～

[座学] 約2時間講義

※ウェビナー開始時間、及びURLは事前にメールにてお知らせします。

11. 第2回の課題解説

12. 電子工学と生物学・二つの情報システム

電子工学での情報伝達とは(電圧変化)・ON と OFF

13. 生物学での情報伝達

細胞は濃度を読む装置

14. 分子濃度が遺伝子を変える

数百の遺伝子発現が変化する仕組み・オートファジー
誘導・抗炎症・抗老化遺・伝子群の活性化・分子は
「材料」と「情報」の二重の役割を持つ・分子は濃度
で意味が変わる

15. スキルアップトレーニング(課題)

(第4回講座オープニングで解説します)

講座日程

第4回 2026年10月31日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：

機能性ヨーグルト製造体験

市販ヨーグルトの菌種比較実験

皮膚常在菌の培養

【座学】 10:30～11:00

【実験・体験】 11:00～12:00

■ 事前配信動画

機能性ヨーグルトの製造方法、機能性ヨーグルトとは、ヨーグルト製造の注意点



講座日程

第4回 2026年10月31日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：エネルギーと代謝物 ～クエン酸回路は情報回路～

[座学] 13:00～18:00

16. 第3回の課題解説

17. 細胞とエネルギー・概論

生命の歴史と微生物・細胞の構造と働き・クエン酸回路とミトコンドリア・メタボカインの概念・膜を使った発電システム・電子の働きについて

18. 人体とATP

糖と脂肪の発生エネルギーの違い

19. 細胞試験・動物実験・臨床試験概論

in Vitro と in Vivo の違い

20. 細胞試験・試験結果解説

マクロファージ・アディポネクチン・表皮細胞スリット試験

21. 動物試験・試験結果解説

糖尿病・熱傷ラット炎症回復試験・AMPK、GLUT4改善試験結果・ミトコンドリア膜電位

22. 臨床例・臨床試験結果解説

糖尿病患者・慢性腎炎患者・乳がん、大腸ガン、膵臓ガンなど・IBD(潰瘍性大腸炎)・クローン病・美容関係

23. 乳酸菌関連・広告分析(その2)

CM上の嘘の特徴・広く浅く儲けるビジネスモデル

24. スキルアップトレーニング(課題)

(第5回講座オープニングで解説します)

講座日程

第5回 2026年11月1日(日)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：

機能性ヨーグルト回収

市販ヨーグルトの培養・回収

皮膚常在菌の培養・回収

[座学] 10:30~11:00

[実験・体験] 11:00~12:00



講座日程

第5回 2026年11月1日(日)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：腸内細菌と免疫機構

[座学] 13:00~18:00

25. 第4回の課題解説

26. ヒト免疫システム総論

細胞免疫と液性免疫・免疫細胞の種類と働き・免疫とワクチン・コロナ感染と免疫・免疫グロブリン

27. 食品製造技術・実践編

ライバル各社の製品分析・他社製品と SLIC16cの比較・他社が当社に勝てない本当の理由・エンジニアが造る製品、製品づくりの理論、使用する菌株の特徴・培養容器の違い・作り手の違い

28. 代謝物サブリの問題点(その3)

原理を分からずに作っている・老化した腸内環境は改善しない

29. 本物と偽物の見分け方

他社製品の特徴・SMIC16c について・無農薬大豆と有機栽培・無農薬栽培と有機栽培の違い

30. スキルアップトレーニング(課題)

(第6回講座オープニングで解説します)

講座日程

第6回 2026年11月14日(土)

講座形式：Zoomウェビナー

(Master / Member course)

テーマ：細胞と代謝異常

[座学] 約2時間講義

※ウェビナー開始時間、及びURLは事前にメールにてお知らせします。

31. 第5回の課題解説

33. 脂肪と肥満の話

糖尿病という病態について・細胞内で起きていること・運動とGLUT4 への影響

34. 脂肪とインスリンの働きについて

アディポネクチンとは

35. 細胞外小胞について

エクソソームとは何かで意味が変わる・幹細胞とは何か・幹細胞治療の盲点

36. 各種成分々析方法・基礎編

機器分析とは[基礎編]・メタボローム解析とは何か・分光光度計と HPLC

37. 論文の検索方法と読み方

学会参加方法・各種資料の集め方

38. スキルアップトレーニング(課題)

(第7回講座オープニングで解説します)

講座日程

第7回 2026年11月28日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：

分光光度計とHPLC(高速液体クロマト)

- ・ コーヒーポリフェノール分析体験
- ・ LZスペシャルティコーヒー試飲

【座学】 10:30～11:00

【実験・体験】 11:00～12:00

■ 事前配信動画

分光光度計とは、ポリフェノールとは何か、
コーヒーに含まれる成分、尿の分析方法



講座日程

第7回 2026年11月28日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：老化のメカニズムと脳腸相関

[座学] 13:00~18:00

39. 第6回の課題解説

40. 年齢と老化

老化する腸内細菌・一般菌とエリート菌・老化する細胞の特徴・オートファジーとは・ミトファジーとは・寿命と延命を考える・老化とセンテネリアン(100歳長寿者)

41. S / N 比の低下とは何か

腸内菌代謝物シグナルの S/N 比の低下・受容体応答の鈍化・老化する細胞の特徴・オートファジーとは・ミトファジーとは・寿命と延命を考える・老化とセンテネリアン(100歳長寿者)・微弱多成分シグナルの強調崩壊・老化細胞に足りないもの・栄養素と情報という視点

42. 腸脳相関・基礎知識

脳と免疫細胞・BBBとは何か・認知症とは何か・認知症の脳の特徴・神経ネットワークについて・ボケないために必要なこととは

43. 代謝物の脳疾患への応用

SMIC16cによる脳機能改善例・大学との共同研究での実験結果・FMTの愚行

44. スキルアップトレーニング(課題)

(第8回講座オープニングで解説します)

講座日程

第8回 2026年12月12日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午前の部】(Master course)

テーマ：

有機大豆をオートクレーブで加熱(試食)

滅菌・殺菌・除菌の違いは何か

[座学] 10:30~11:00

[実験・体験] 11:00~12:00

■ 事前配信動画

使用機材の名称と使い方



講座日程

第8回 2026年12月12日(土)

講座形式：会場&Zoom

※午後の座学会場は横浜 or 品川です ※午前の座学&実験は横浜の弊社地階です ※講座内容は変更する場合があります

【午後の部】(Master / Member course)

テーマ：IMMとビジネス戦略について ～生命科学を使ったビジネス展望～

[座学] 13:00～18:00

45. 第7回の課題解説

46. 大豆と原料調達の実情

無農薬大豆と有機大豆・大豆の栄養素

47. 遺伝子とは何か

遺伝子の構造と核酸物質・腸内細菌と遺伝子・遺伝子解析・基礎編・メタボローム解析とは・16SmRN

48. 乳酸菌と遺伝子ビジネス

糞便からの培養ビジネス

49 日本人のモノづくりと諸外国の違い

アングロサクソンとゲルマン民族、製品と魂の話、外国人に真似のできない魂

50. 変わりつつある世の中の流れ

第三世代研究とは・当社の今後の研究方向(学会・特許・新製品・海外展開)

51. 世の中の実態(黄昏れるリテラシー)

AI時代に暴かれる嘘・クエン酸 NMN・サプリと健康被害の実例・紅麹事件の真相

52. IMMの新しいステージとは

代謝物ビジネス展望、勝ち組としての IMM、販売に必要なスキルとは、売れるトーク集、今後提供可能な商品、代謝物濾過実演&プレゼント、お客様はどこにいるか、海外客への販売、inetビジネス展開例、IMMオリジナル商品の作り方

53. IMM第二期世界観の完成

生命は情報で動いている

54. スキルアップトレーニング

55. 総括～第三期 IMM 養成講座に向けてのご案内

講座のご案内・IMM修了証授与

あなたを成功へ導く「5つの徹底サポート体制」

① スタートアップ個別コンサル

第1回目の講座開始前に開催
Zoom 30分

講座開始前に、あなたの個別の状況(サロン経営、整体、一般など)に応じた目標やリクエストを箱崎が個別にヒアリング。期待する内容を講座に反映させます。

※個人的な病気の健康相談・診断を行うものではありません。

② IMMメンバー限定 オリジナルフォーラム

講座で話した内容に限らず、疑問や質問、提案、問題提起などを自由に行うことができます。



あなたを成功へ導く「5つの徹底サポート体制」

③

個別メールサポート

理論や製品の疑問にいつでも箱崎が直接回答。現場のリアルを共有。



④

受講生専用 会員サイト完備

すべての講義動画、研究資料へ24時間アクセス可能。



⑤

IMMアライアンス 継続サポート

講座修了後も、最新の真実に触れ続ける環境を用意しました。

※継続料金が発生します



特別な参加特典

参加者全員2大特典

個別対応 ビジネスコンサルティング

講座期間中の回数無制限
Zoom 60分

学んだ真実を「収益化」したい方へ。あなたのビジネスモデルに合わせた個別支援を行います。
※個人的な病気の健康相談・診断を行うものではありません。

軽井沢保養所の特別利用権

当社保有の軽井沢デザイナーズ貸別荘を無料でお貸しします。(条件あり)



特別な参加特典

マスターコース参加4大特典

ヨーグルトメーカー 進呈

ご自宅で機能性ヨーグルト
を作る際にお使い
いただけます



箱崎の出張講師派遣

※価格については応相談



新製品の 無料モニター



販促物、出版、印
刷物、メールマガ
ジン配信などの無
料サポート

価格

※各コースの受講費は付属製品を含めた価格です。

メンバーコース

Member course

¥327,800円(税込)

- ・オンライン講座(Zoom)参加権
- ・リアル講座(本社/会場)参加権
- ・次期 IMM講座参加権
- ・メルマガメンバー配信
- ・スタートアップ個別コンサル
- ・個別メールサポート
- ・メンバー限定オリジナルフォーラム
- ・会員サイト
- ・個別対応ビジネスコンサル
- ・軽井沢保養所の特別利用権

コース付属製品 Aパック (定価総額 179,400 円)

回輝源(定価25,000)	2箱
回輝源100(定価22,000)	2箱
回輝源ZERO(定価34,000)	2箱
回輝源業務用(定価8,700)	2本

価格

※各コースの受講費は付属製品を含めた価格です。

マスターコース

Master course

¥597,300円(税込)

- ・ **8大本格ラボ(実験)実習** ・ オンライン講座(Zoom)参加権 ・ リアル講座(本社/会場)参加権
- ・ 次期 IMM講座参加権 ・ メルマガメンバー配信 ・ スタートアップ個別コンサル ・ 個別メールサポート
- ・ メンバー限定オリジナルフォーラム ・ 会員サイト ・ 個別対応ビジネスコンサル
- ・ 軽井沢保養所の特別利用権 ・ ヨーグルトメーカー進呈 ・ 新製品の無料モニター ・ 出張講師派遣
- ・ 販促物、出版、印刷物メルマガジン配信などの無料サポート

コース付属製品 Bパック (定価総額 448,500円)

回輝源(定価25,000)	5箱
回輝源100(定価22,000)	5箱
回輝源ZERO(定価34,000)	5箱
回輝源業務用(定価8,700)	5本

この講座で、あなたが手に入れるもの

この講座の受講料は、単に講義を受けるための費用ではありません。
あなたが31年間という時間を、最短距離で手に入れるための費用です。

そのために、講座に含める形で以下のメニューを用意いたしました。

- SMIC16cを自分自身で体験する
- 箱崎の過去の研究データを学ぶ
- 大学との共同研究結果を共有する
- 様々な実験を体験する
- 講座の終了後も最新情報を受け取り続ける

受講料には、これらの環境がすべて含まれています。

付属製品も、『商品』ではありません。
生命のメカニズムを、ご自身の身体で確認するための教材です。



継続受講について

「情報の最上流」に留まり続ける。

卒業後も進化を止めない『IMM Alliance Update』

科学は日々進歩します。講座修了後も、IMM Allianceメンバーとして最新の真実に触れ続ける環境を用意しました。

なぜ卒講座を終了しても学び続けるのか？

生命科学は、毎年新しい論文が発表されます。

しかし、その論文を『だから何なのか』まで読み解ける人は、決して多くありません。

私は、その31年間の研究で得た視点から、世界中の研究成果を、あなたの仕事や健康にどう役立てればいいのか、まで解説します。つまりIMMは、講座受講後も『研究結果を実生活へ翻訳する力』を育て続ける場所なのです。

継続受講について

【不定期配信コンテンツ(Zoomまたは動画)】

大学との共同研究の最新進捗報告

新しい世界的論文の解説

ラクトザイム新商品の開発予定解説

会員間の症例共有・海外最新情報のシェア

【継続価格】

メンバー継続：12万円

マスター継続：24万円

(※Alliance専用の「受講生特別卸価格」での製品仕入れ特権が継続されます)

よくある質問 Frequently Asked Questions

② 専門知識がなくてもついていけますか？

専門知識は必要ありません。必要なのは、『自分や家族の健康をもっと理解したい』という気持ちだけです。講座終了後には、健康情報に振り回されず、自分自身で『これは本当だ』と判断できる力が身についています。

② 講義を欠席した場合はどうなりますか？

すべての講義は録画され、会員サイトにてアーカイブ視聴が可能です。仕事や急用で参加できない場合も、ご自身のペースで繰り返し学習いただけます。

② 商品を買ってもいいのでしょうか？

販売は義務ではありません。まずは、ご自身やご家族で体験してください。その結果、『これは人に伝えたい』そう思った方が、自然に伝えていただければ十分です。私は、売る人ではなく、理解して伝えられる人を増やしたいと思っています。

よくある質問 Frequently Asked Questions

① 質問に答えられなかったら？

お客様からの質問に答えられなくても大丈夫。あなたの背中にはずっと箱崎がついていきますので、翌日には箱崎がベストの答えをあなたに授けます。

② 他の「腸活講座」との決定的な違いは？

世の中には、健康情報があふれています。しかし、情報が多いほど、何を信じればいいのか分からなくなります。IMM養成講座では、情報を増やすものではありません。情報を見極める力を身につけます。ですから、CMなどの広告にも、流行にも振り回されなくなります。

③ なぜ受講料に製品が含まれているのですか？

SMIC16cを使った製品は、私が31年間研究してきた一つの結論です。だから私は、説明だけで終わらせたくありません。実際に体験し、ご自身の身体で確かめていただきたい。そのために、講座へ組み込んでいます。

よくある質問 Frequently Asked Questions

② 受講後に資格は発行されますか？

講座修了者には、IMA認定マスターが認定されます。IMA認定マスターの認定とは、知識量を証明する資格ではありません。生命をより深く理解するためのスタートラインです。

② 『軽井保養施設・無料利用権』 とはなんですか？

弊社が軽井沢に保有する貸別荘(マノワール・ド・ピエール)を、無料で利用できます。あなたのお客様のために環境を変えてセミナーを行ったり、ご家族で避暑のためにご利用いただくこともできます。

② 講座に付属している商品は、いつ送ってもらえるのでしょうか？

以下の通りとなっており、具体的な発送日はご相談になります。

- IMMメンバー：講座申し込み後3ヶ月以内に一括納品
- IMMマスター：講座申し込み後6ヶ月以内に3回に分けて納品



IMMUNE METABOLITE MASTER

生命科学の最高峰へ ようこそ

IMM養成講座のお申し込みはこちらから

<https://lz-kaiin.lactzyme.com/>

一生揺るがない健康を判断する『視点』を、その手に。
ここから、あなた自身の新しい物語が始まります。



LACTZYME

株式会社ラクトザイム

Lactzyme Co.,Ltd.